

## 商品の特徴

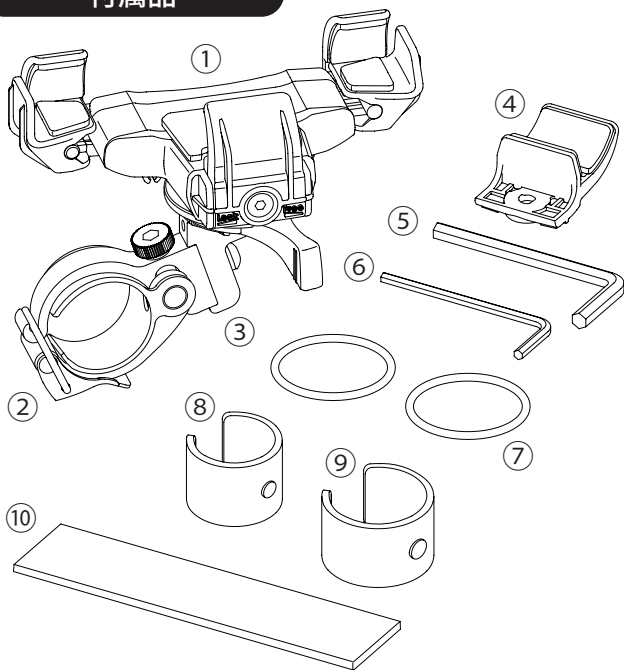
- ワンタッチバックル式でハンドルバーなどに簡単に脱着可能なスマートフォン専用のホルダ。
- クランプは、ひとつで直径 22mm ~ 35mm に幅広く対応可能な「SM2235」を採用。ハンドルバーだけでなく、丸形断面ならステムやシートポストなどにも装着可能。
- スマホサイズに合わせて自在に調整できる2つのサイドウィングと、中央のスライドウィングの3点でがっちりとスマホを保持。スマホごとに異なる側面のスイッチ配置に合わせて、左右逆向きでも使えます。
- 本体は工具なしで360度自在に回転させることができます(40段階)。
- スライドは大型レバーによりしっかりとロック。内蔵バネが常に内向きに動作する設計なので、万一ロックレバーが緩んだとしてもスマホを離しません。
- ケースやバンパーを装着して厚さを増したスマホにも対応するよう、ラージサイズのスライドウィングも添付。

## 装着可能なスマートフォン寸法のためやす

全長： 123 ~ 170mm  
 全幅： 55 ~ 85mm ※  
 厚さ： 6 ~ 18mm  
 重量： 300g 以下

※幅が70mmを超える場合はサイドベースの位置変更が必要です。

## 付属品



- |                          |                 |
|--------------------------|-----------------|
| ① iH-700 本体 ※            | ⑥ 3mm 六角レンチ     |
| ② SM2235 クランプ+樹脂シム A (大) | ⑦ シリコンバンド (2本)  |
| ③ 取付台座                   | ⑧ 樹脂シム C (小サイズ) |
| ④ スライドウィング (大)           | ⑨ 樹脂シム B (中サイズ) |
| ⑤ 5mm 六角レンチ              | ⑩ 透明ビニールパッキン    |

(※本体には最初スライドウィング (小) が組み付けられています)

## 製品保証

- 本商品の保証期間は、お買い上げ日より起算して1年間とします。お買い上げ日の証拠となるレシートや納品書は必ず手もとに残し、請求されたらいつでも提出できるように保管しておいてください。
- 弊社は、本商品を正しくお使いになっていたにも関わらず製造上の瑕疵によって生じた不具合について、商品の無償修理または無償交換をいたします。
- この説明書で指示された以外の用途・方法で使用したこと、ボルトの締め過ぎによる不具合については、保証から外れ有償扱いとなります。
- 本商品はユーザ自身のリスクのもとに使用します。本商品を使用したことによる落下・破損・紛失・盗難などいかなる電話機本体へのトラブルに関して弊社はその責任を負いません。
- クランプや各ねじの締め付けは、使用開始前に必ずチェックしてください。
- スマホを保持するウィング部分にはクッションパッドを備えています。走行中の振動を完全に無くす機能はありません。振動によりスマホに不具合が生じたとしても弊社はその責任を負いません。
- SM2235 クランプは工具なしで脱着可能な取付金具です。逆に言うと簡単に外されてしまうことにもなります。自転車から離れる際には必ず自転車から本商品を取り外してお持ちください。盗難やいたずらに関して弊社はその責任を負いません。
- 経年劣化や自然摩耗など予期される部品の消耗については保証から外れ有償扱いとなります。交換部品は販売店にご注文ください。
- 本商品を開封して使用を開始することで、本保証のすべての条件を承諾したものとみなします。
- 製品保証の最新情報については適宜弊社ウェブサイト ([www.minoura.jp](http://www.minoura.jp)) をご参照ください。
- 本商品は品質向上のため予告なく仕様を変更することがあります。

## 使用上の注意

- 運転中にスマートフォンの画面を注視したり操作したり電話機能を使用することは法律で禁じられています。必ず安全な場所に停止してからお使いください。
- スマホを装着したとき、サイドウィングやスライドウィングによって電源ボタンなどのスイッチが押されてしまっていないかどうかを事前に確かめてください。
- パッケージ開封時に左図どおりの部品が揃っているかどうかを確かめてください。もし欠品や不具合があれば、商品は使用せず、すみやかに販売店にご連絡ください。
- 装着するスマホの厚さによって、必ず正しい位置にサイドウィングを付け替え、適切な方のスライドウィングに交換して使用してください。誤った位置では正しくスマホを保持できず、予期せず外れてしまうことがあります。
- 不整地走行や強い段差越えの衝撃などで予期せずロックが解除されてしまうことがあります。必ず脱落防止用のシリコンバンドはお使いください。
- ケースなどにより装着が難しい場合、無理してそのまま装着しようとせず、それらから取り外して装着するようにしてください。
- SM2235 クランプは3種類の樹脂シムとビニールパッキンとの組み合わせにより装着対象のパイプ径に最適にフィットするように作られています。指定とは異なる組み合わせで使うと、クランプが緩んだり破損したりすることがあります。

## 問い合わせ先

もし何かわからないことがあった場合は、まずお買い求めになった**販売店**にお問い合わせください。もしそこで十分な情報やサービスを受けられない場合に限り、下記までお問い合わせください。

株式会社 箕浦

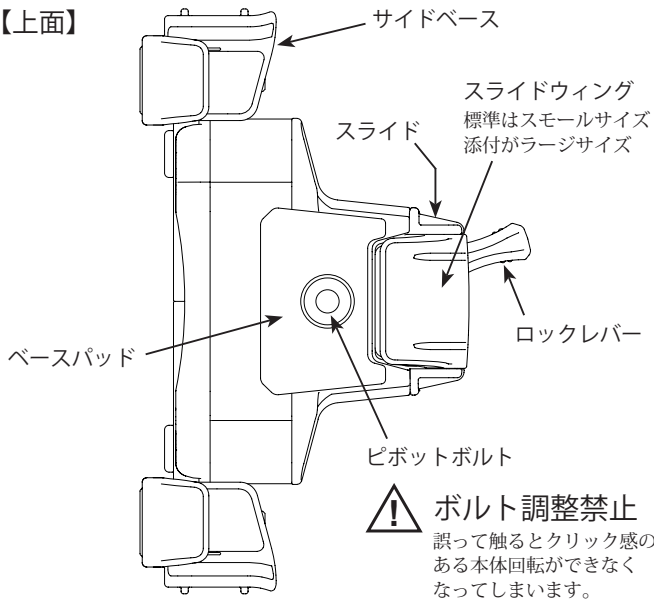
〒 503-2312 岐阜県安八郡神戸町下宮 134-1

Phone (0584) 27-3131 Fax (0584) 27-7505 Web [www.minoura.jp](http://www.minoura.jp)Mail [minoura@minoura.jp](mailto:minoura@minoura.jp) (営業) / [infodesk@minoura.jp](mailto:infodesk@minoura.jp) (カスタマーサービス)

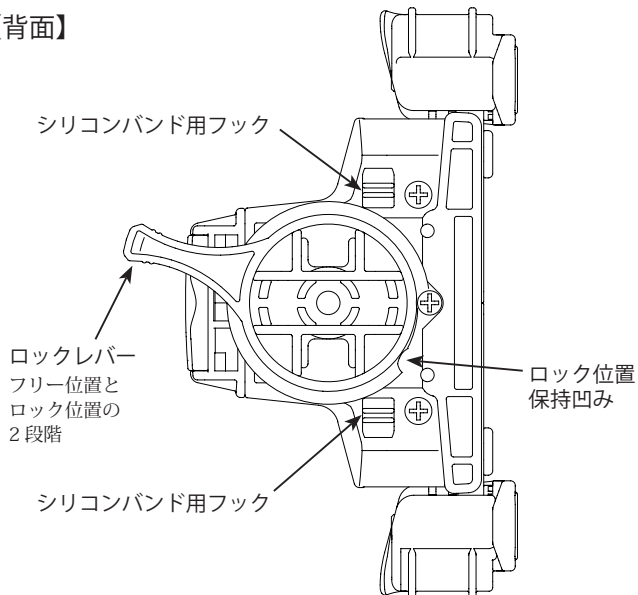
Made in Japan

## 各部の名称

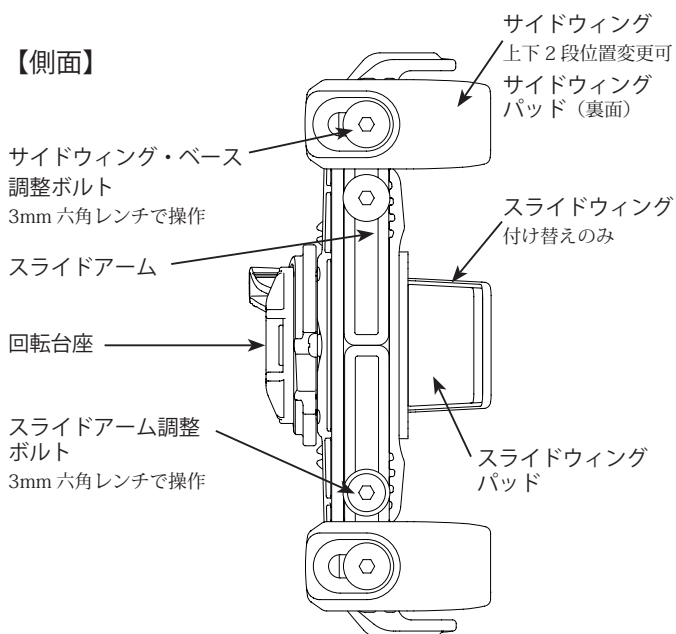
### 【上面】



### 【背面】



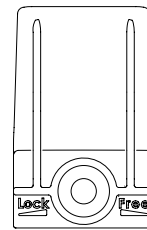
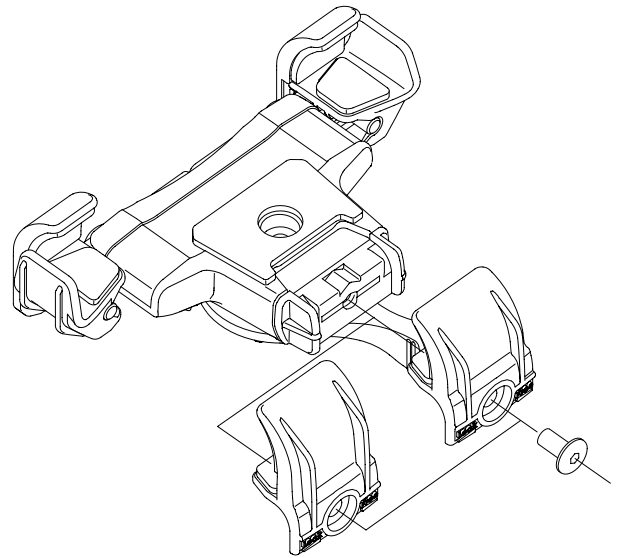
### 【側面】



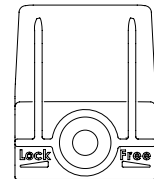
## スマートフォンに合わせた各部の調整

### スライドウィングの選択

スライドウィングは高さちがいで2種類があります。お使いになるスマートフォンの厚さに合わせて、適した方に付け替えてください。(3mm 六角レンチを使用)



スライドウィング (大)  
厚さ 12 ~ 18mm の場合



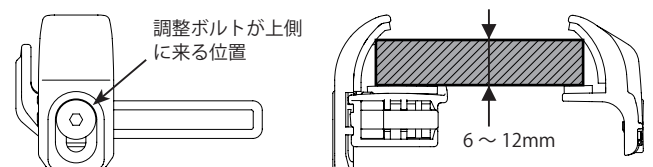
スライドウィング (小) <標準>  
厚さ 6 ~ 12mm の場合

### サイドウィングの高さ調整

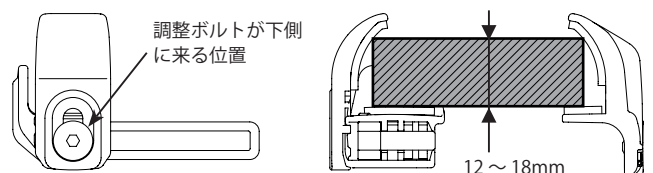
サイドウィングは上下2段階に高さを変えることができます。お使いになるスマートフォンの厚さに合わせて取り付け位置を変更してください。(3mm 六角レンチを使用)

**⚠** サイドウィングの高さだけを変えるだけなら調整ボルトは少し緩めるだけでできますが、同時にサイドベースの位置も付け替えたい場合は、調整ボルトは完全に抜いてしまう必要があります。

#### 【スマホの厚さが 6 ~ 12mm の場合 (出荷状態)】



#### 【スマホの厚さが 12 ~ 18mm の場合】

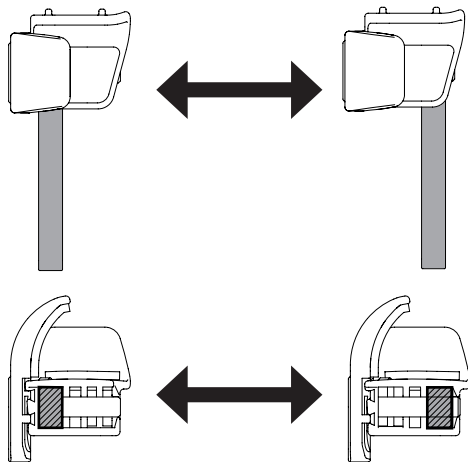


## 横幅側の調整 (サイドベースの差し替え)

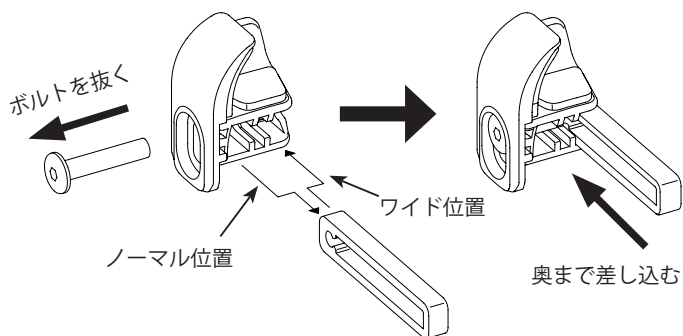
お使いになるスマートフォンの横幅が 70mm 以上ある場合は、サイドベースを差し替えて、開口幅を一段広げる必要があります。

ノーマル位置 (出荷状態)  
幅 55 ~ 70mm

ワイド位置  
幅 70 ~ 85mm

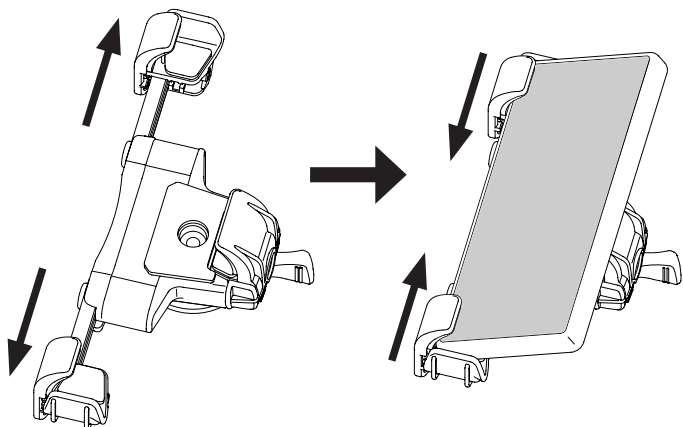


3mm 六角レンチで調整ボルトを完全に抜き、スライドアームを差し替えてから、もう一度ボルトをねじ込んで固定します。

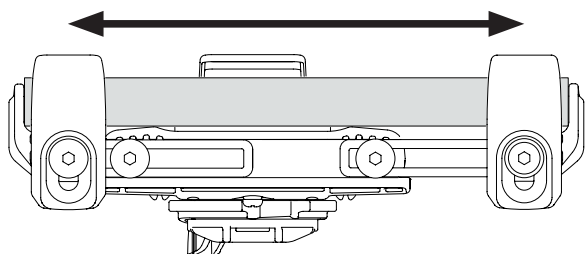


## 長さ側の調整 (スライドアームの伸縮)

調整ボルトを緩め、まずはスライドアームをいっぱいに開いてから、機種ごとの長さに合わせて縮めて合わせ、最後にボルトを締めます。



サイドベースを両方ともスマホに当てたまま前後に動かして、スライドウィングが何かのボタンと干渉しないように位置合わせを行ない、希望のところに来たら調整ボルトを 2 本とも締めて固定します。



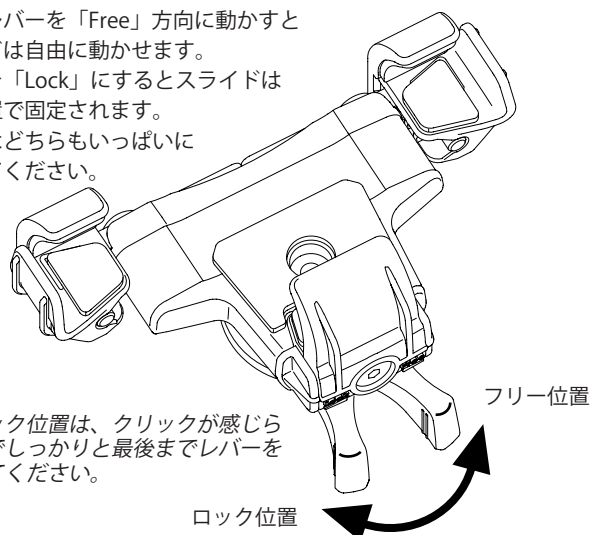
## スマートフォンの装着

### ●ロックレバーの操作方法

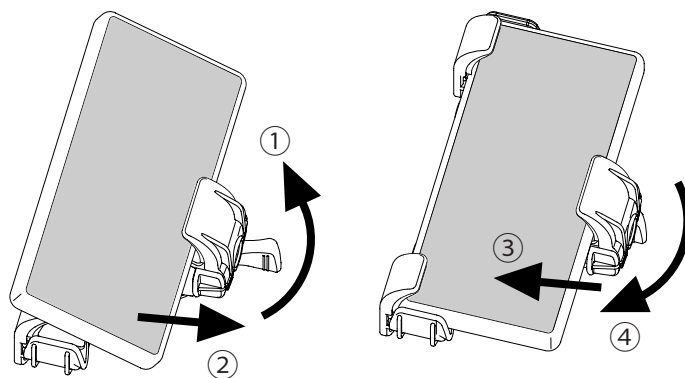
ロックレバーを「Free」方向に動かすとスライドは自由に動かせます。レバーを「Lock」にするとスライドはその位置で固定されます。レバーはどちらもいっぱい動かしてください。



特にロック位置は、クリックが感じられるまでしっかりと最後までレバーを動かしてください。

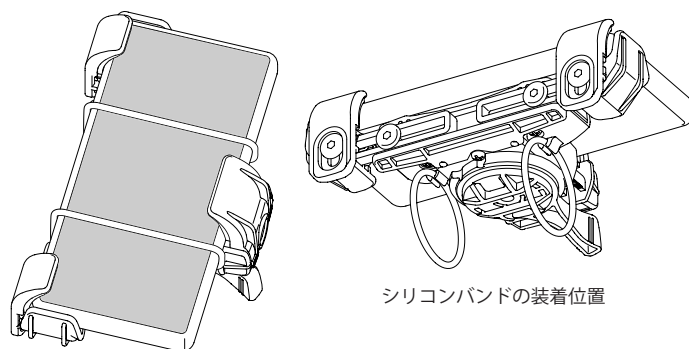


### ●スマートフォンの装着手順



- ① ロックレバーを「Free」側にいっぱい回します。
- ② これでスライドは引っ張れば自在に動きます。手を離せば内臓のバネの力で元に戻ろうとするので、大きく引き出しておいてから、レバーを「Lock」側にいっぱい回してスライドを仮固定しておきます。スマホの左側の上下角部をサイドウィングに当たるよう収めます。
- ③ ロックしておいたスライドを「Free」側に回すとバネの力でスライドが戻りスマホを挟んでくれます。
- ④ 最後にロックレバーを「Lock」側にいっぱい回し、スライドを固定します。

## シリコンバンドの使い方



シリコンバンドの装着位置

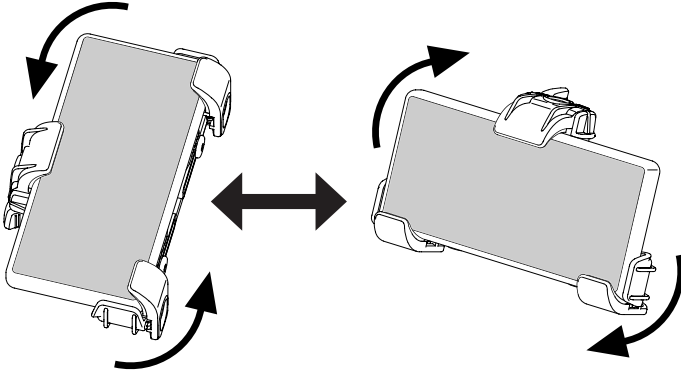
万一スライドが緩みスマートフォンが脱落してしまわないように、使用中は常にシリコンバンドでスマホをホルダに止めておくことを勧めます。シリコンバンドは背面のフックに取り付けて使います。

**!** 使用前に必ずシリコンバンドの状態を調べてください。柔軟性がなくなったり亀裂が入ったようなバンドでは安全に保持できません。新品バンドを取り寄せて交換してください。

**!** シリコンバンドにより画面の一部が隠されてしまうことは仕様上やむを得ません。スライドアームを調整して、気にならない位置に変更することを勧めます。

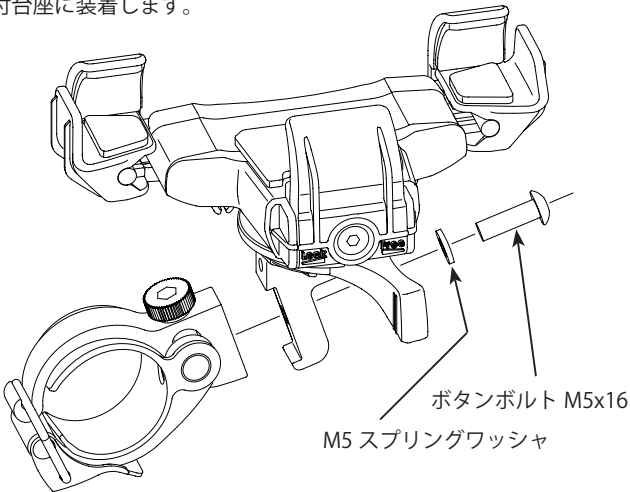
## 画面の回転

ホルダは工具なしで360度自在に回転させられます。(9度刻み40段階)

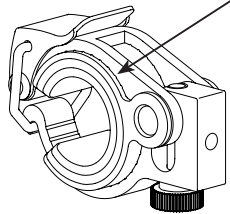


## SM2235 クランプの使い方

SM2235 クランプは、ボタンボルト M5x16 と M5 スプリングワッシャで取付台座に装着します。

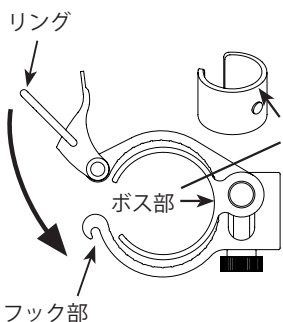


樹脂シム A (大)・B (中)・C (小)・透明ビニールパッキンは装着するパイプの直径に合わせて組み合わせを変えてクランプの内側に重ねます。

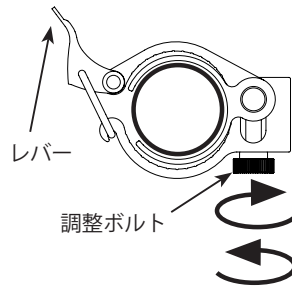


樹脂シム組み合わせ表

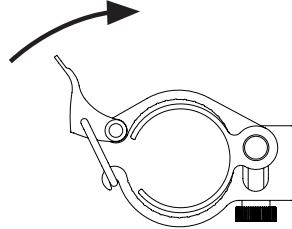
直径φ	A	B	C	ビニール
22.2	○	○	○	—
25.4	○	○	—	—
27.2	○	○	—	—
28.6	○	—	—	○
31.8	○	—	—	—
35.0	—	—	—	—



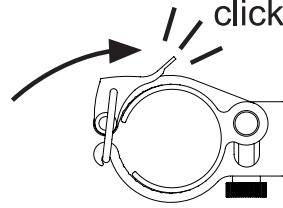
クランプを開いた状態で相手径に合わせてシムを重ねます。シム A はスライドピンに掛けます。他のシムはお互いのズレ防止用にボス部を合わせます。クランプを閉じてから、リングをフック部に掛けます。



レバーを少し起こした状態で側面のノブボルトを回し、クランプの内径をパイプ径に合わせて微調整します。

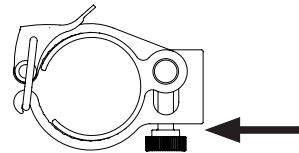


レバーを倒し、クランプを締め付けます。



レバーを倒したとき、「パチン」という音とともに適度な抵抗を感じたら、クランプは正しく締まっています。

もしレバーがきつ過ぎる、あるいは緩い場合は調整が正しくありません。いったんレバーを起こし、調整ボルトを回して加減してから、もう一度レバーを倒してみてください。



**×** 隙間があいていたら NG

レバーを閉じたとき、もし側面の調整ボルトの根本に隙間が残っていたとしたら、それはクランプが完全に正しく締まっているとは言えません。

このままでは使用中にボルトがずれてクランプが緩み、予期せぬ事故を招く原因となります。

ボルトのつまみ部分はクランプ本体に完全に密着していることを確認してから使用してください。